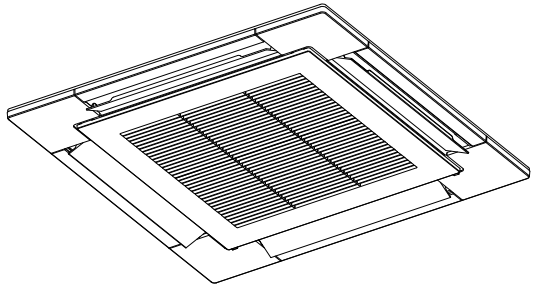
TOSHIBA

Leading Innovation »»

東芝パッケージエアコン

取扱説明書



EH99948801-2

R32冷媒機種

天井カセット形＜4方向吹出しタイプ＞

形　名

室内ユニット

組み合わせ室外機はカタログをご覧ください。

AIU-RP711H　AIU-RP1121H
AIU-RP801H　AIU-RP1401H
AIU-RP1601H

形　名（別売品）

リモコン

ワイヤード

RBC-AMS53(省エネneoリモコン)

詳細設定はリモコンに付属している取扱説明書をお読みください。

ワイヤレス

RBC-ATX41（ワイヤレスリモコン）、**RBC-AXR41U**（受信部）

ワイヤレスリモコン RBC-ATX41 組合せの時は、リモコンに付属している取扱説明書をお読みください。

形　名（別売品）

パネル

RBC-U41PG(W)　RBC-UP41PG(W) (オイルガード)
RBC-U41PG(C)　RBC-UA41PG(W)(K) (オートグリル)
RBC-U41PG(N)　RBC-UAP41PG(W) (オイルガードオートグリル)
RBC-U41PG(K)　RBC-UAH41PG(W) (高所用オートグリル)

●このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。
●据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。

もくじ

安全上のご注意 …… 2
リモコン各部のなまえとはたらき …… 4
各部のなまえ …… 5
正しい使いかた …… 5
タイマー運転 …… 6
オートグリルパネルの操作方法 …… 7
風向調節 …… 8
セーブ運転 …… 10
節約運転 …… 11
乾燥運転 …… 11
グループ接続が行われている場合 …… 12
お手入れ …… 12
このようなときには …… 14
知っておいていただきたいこと …… 14
据付について …… 15
点検整備について …… 15
故障診断 …… 16
仕様 …… 16
保証とアフターサービス …… 20

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容”を示します。

＊1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図　記　号　の　意　味
⃠	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
●	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
△	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠ 警告

据え付けは、お買い上げの販売店または据え付け専門業者に依頼する
据え付けには専門の知識と技術が必要です。
お客様ご自身で据え付けを行うと、火災・感電・けが・水漏れの原因になります。
強　制

自分で分解・改造・修理・移設をしない
火災・感電・けが・水漏れの原因になります。
修理・移設は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご依頼ください。
分解禁止

冷媒充填・回収作業については、第一種フロン類充填回収業者に依頼する
冷媒充填・回収作業は専門の知識と技術が必要です。ご自身で作業されると冷媒ガスが漏れる原因になります。
強　制

フロン類をみだりに大気中に放出しない
フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。
強　制

別売品は、必ず弊社指定の製品を使用する
指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取り付けは専門の業者に依頼してください。
指定製品を使用する

小部屋に据え付ける場合は適用床面積を守り万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う
適用床面積、限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。
万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故や着火の原因になります。
限界濃度を超えない対策をする

可燃性ガスが漏れるような恐れのある場所へ設置しない
万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・火災の原因になります。
据付場所の確認

アース工事が正しくされているか確認する
アース工事が不完全な場合は、感電の原因になります。
確認方法については、据え付けをおこなった販売店、または据え付け専門業者へ問い合わせください。
強　制

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎない
体調悪化・健康障害の原因になります。
禁　止

異常時（焦げ臭い、冷えない・暖まらない、内部に水や異物が入った等）は、運転を停止して、漏電遮断器を切る
そのまま使うと、火災、感電の原因になります。
修理をお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご依頼ください。
強　制

空気の吹出口や吸込口などから物（金属、紙、水など）を差し込んだり、中に入れたりしない
内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、けがや感電の原因になります。
禁　止

⚠ 警告

エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する。冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する
エアコンに使用されている冷媒は安全です。
冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れた箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
強　制

配管工事が正しく行われているか確認する
既設配管を使用される場合は、正しく施工しないとエアコンが故障したり、冷媒ガスが漏れたりすることがあります。
正しく施工されていることを据付業者に確認してください。
据付に関することは据付説明書をご覧ください。
R32もしくはR410A用のツール、配管部材を使用してください。
専用の配管部材を使用していなかったり、据え付けに不備があると破裂、けがの原因になります。
確認する

修理は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ依頼する
修理に不備があると火災、感電の原因になります。
依頼する

漏電遮断器が正しく取り付けられているか確認する
漏電遮断器が正しく取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
確認方法については、据え付けを行った販売店、又は据え付け専門業者へ問い合わせください。
強　制

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存や、船舶・車両などの特殊用途には使用しない

品質低下やエアコンの故障の原因になることがあります。



エアコンの風が直接あたる場所には動植物を置かない

動植物に悪影響を与える原因になることがあります。



燃焼器具と一緒に運転するときや、密閉した部屋で使用するときは換気をする

換気が不十分な場合は、酸素不足により窒息の原因になることがあります。



ドレン配管が、確実に排水するように施工されているか確認する

配管工事に不備があると水漏れをおこし、家財などをぬらす原因になります。



エアコンの風が直接あたる場所で燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼により、窒息の原因になることがあります。



ユニットの上に花びんなどの液体の入った容器を置かない

ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。



エアコン本体を水洗いしない

感電の原因になることがあります。



掃除をするときは、必ず運転を停止して漏電遮断器を切る

内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になることがあります。



室外機の上に乗ったり、物を載せない

落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。



ぬれた手でボタンを操作しない

感電の原因になることがあります。



可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけない

発火の原因になります。



エアフィルターを水洗いした後は、水気をふき取って陰干しする

水気が残っていると感電の原因になることがあります。



1年に1度は、室外機の据付台などが傷んでいないか点検する

傷んだ状態で放置するとユニットの落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



エアフィルター着脱時、不安定な台に乗らない

転倒などけがの原因になることがあります。



エアコンのクリーニングはお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターに依頼する

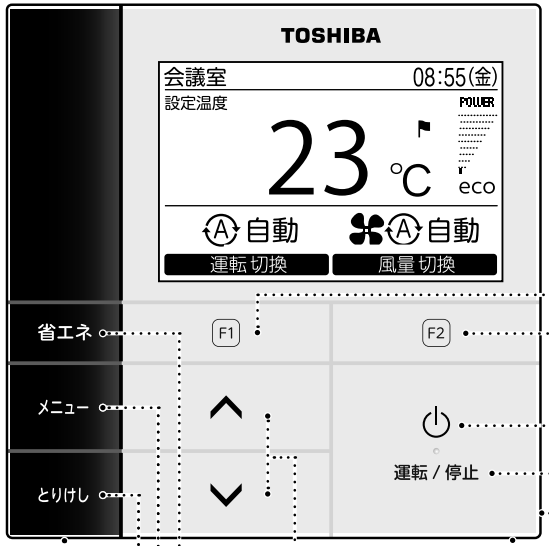
誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部品の破損や電気部品の絶縁抵抗が不良等が発生して故障の原因となったり、最悪の場合は水漏れ、感電あるいは発煙・発火につながる恐れがあります。



リモコン各部のなまえとはたらき

操作部

●このリモコン1台で、室内ユニットを最大8台まで運転することができます。
●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。



『F1』 ボタン
操作する画面によって、動作が異なります。

『F2』 ボタン
操作する画面によって、動作が異なります。

運転ランプ
運転中はLEDが点灯します。

『運転／停止』 ボタン

温度センサー

『へ』『∨』 ボタン
通常時：設定温度の上げ・下げをします。
メニュー時：メニュー項目選択をします。

『省エネ』 ボタン
省エネ設定画面を呼び出します。

『メニュー』 ボタン
メニュー画面を呼び出します。

『とりけし』 ボタン
メニューの取消しなど画面内で使いかたは指示されます。

形名ラベル

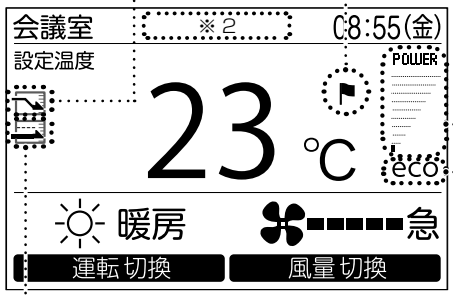
表示部

表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。
●漏電遮断器を最初に入れたとき、リモコンの表示部に 設定中 が点滅します。
この表示中は自動機種確認中ですので 設定中 が消えた後リモコンの操作を行ってください。

簡易画面・詳細画面の切換

『とりけし』を押しながら『省エネ』を同時に4秒以上押し続けると画面を切り換えることができます。
工場出荷時は簡易画面に設定されています。

簡易表示画面（出荷時設定）



セーブアイコン
エアコンがセーブ運転を行っている時に表示されます。

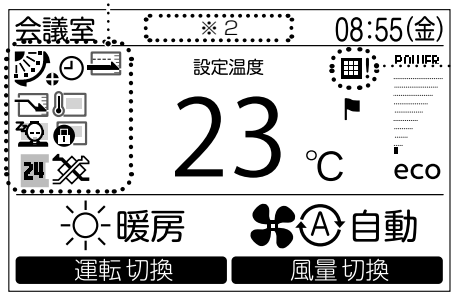
設定温度到達フラッグ
設定温度に到達し、室温維持中に表示されます。

運転パワーレベル
運転しているエアコンの能力状況が10段階で表示されます。室温と設定温度が離れている場合でも、エアコンの保護動作などにより、点灯数が少ない状態で表示される場合があります。

ecoマーク
エアコンが省エネ運転を行っている時に表示されます。

節約運転アイコン
エアコンが節約運転を行っている時に表示されます。

詳細表示画面



詳細表示画面はアイコンを表示します。

※2「暖房準備中」表示の時は
暖房運転開始時または除霜運転時に表示します。
表示中は室内送風機が停止、または送風運転になります。
「運転準備中」表示の時は
機種によって表示する場合があります。

◆アイコン一覧

※1省エネneoリモコン据付操作説明書を参照ください。

	セーブ運転が有効のときに表示されます。		タイマーが有効のときに表示されます。
	リモコンセンサーを設定したときに表示されます。(※1)		フラップロックが有効のときに表示されます。
	室外静音が有効なときに表示されます。		フラップの設定状況が表示されます。
	集中管理操作ロック中に表示されます。(※1)		フィルターのお手入れ時期になると表示されます。
			節約運転が有効のときに表示されます。

◆換気アイコン一覧

● 換気ユニット接続時のみ表示されます。
● 換気アイコンの詳細については全熱交換ユニットの取扱説明書をご覧ください。

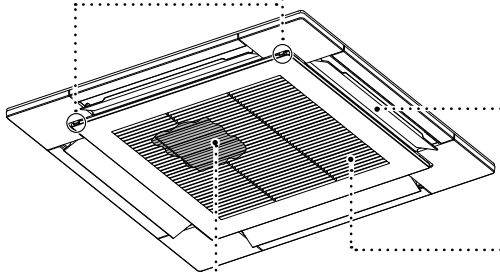
	自動換気		全熱換気		ナイトパージ
	普通換気	24H	24 時間換気		

各部のなまえ

室内ユニット

フック

吸込口を開閉するフックです。



吹出口・吹出フラップ

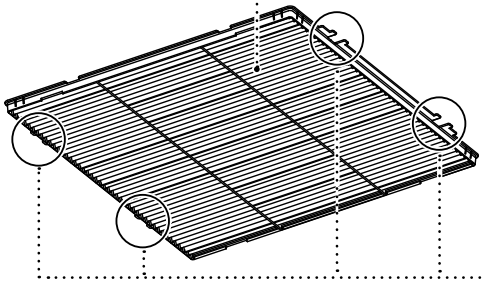
冷房時と暖房時で吹き出す風の方向を切り換えてください。

吸込口

ここから屋内の空気を吸い込みます。

エアフィルター

ホコリやゴミを取り除きます。
（吸込口の上にあります。）



エアフィルター突起部

別売品

リモコン



●「集中管理リモコン」などを併用した応用制御については各リモコンに付属の説明書をご覧ください。

正しい使いかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。
次回から 運転／停止 ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

準備

漏電遮断器を入れる

● 電源が入ると、リモコン表示部に仕切線が表示されます。
※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受けつけませんが、故障ではありません。

お願い

● 使用期間中は漏電遮断器を切らないでください。
● 長期間停止後／運転開始をするときは、**12 時間以上前に**漏電遮断器を入れてください。

運転のしかた

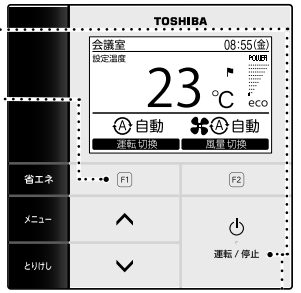
1 『運転/停止』を押して運転する

2 運転切換『F1』を押して「運転モード」を選ぶ

●運転切換『F1』ボタンを押すたびに運転モード表示が変わります。

自動 → 暖房 → ドライ → 冷房 → 送風

3 『運転/停止』を押して運転を止める



風量を変えるとき

風量切換『F2』を押して選ぶ

●風量切換『F2』ボタンを押すたびに風量表示が変わります。

自動 → 急 → 強+ → 強 → 弱+ → 弱

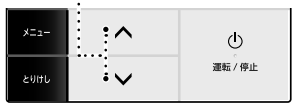
●送風時は 自動 は選べません。



温度を変えるとき

『∧』『∨』を押して選ぶ

●『∧』押すと温度が上がり、『∨』を押すと温度が下がります。
- 設定できる温度範囲は、省エネneoリモコンの取扱説明書の設定温度範囲制限を参照ください。
- クール(ウォーム)ビズ設定時は温度範囲が制限されます。
- 送風時は温度の設定ができません。



おすすめの設定温度

暖房	22 ～ 24℃
ドライ	室温より2 ～3℃低め
冷房	26 ～ 28℃

お知らせ

冷房のとき

● 約1分後に運転を開始します。

冷暖自動のとき

● 設定温度と室温の差によって暖房・冷房運転を自動的に切り換えます。

暖房のとき

● 暖房運転の場合は停止後30秒ほど送風運転を続ける場合があります。
● 暖房運転開始時、室内送風機は停止したままで3~5分間予熱運転した後、温風を吹き出します。（リモコン表示部の「暖房準備」表示が点灯します）
● お部屋の温度が設定温度に達して、室外機が停止しているときは微風となり風量が極端に小さくなります。

タイマー運転

3 つのタイマーの種類が選べます。（168 時間の設定ができます）

切タイマー	入タイマー	切り忘れ防止タイマー
設定時間になると運転を停止します。	設定時間になると運転を開始します。	毎回、設定時間後運転を停止します。

タイマー運転のしかた

1 メニュー画面で「4. タイマー設定」を選んで **設定** 『F2』を押す
- 設定されている場合は＜有効＞設定されていない場合は＜無効＞と表示されます。

2 『へ』『∨』を押して設定したいタイマーを選ぶ

3 **設定** 『F2』を押す



1. 切タイマー エアコンを停止させたい時間までをタイマーで設定できます。

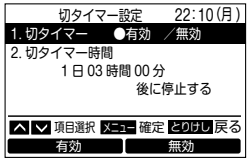
1 切タイマー設定画面で『へ』『∨』を押して **1. 切タイマー** を選ぶ

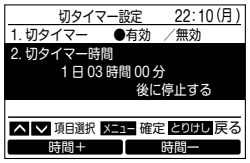
2 **有効** 『F1』を押す
- **無効** 『F2』を押すと設定は解除されます。

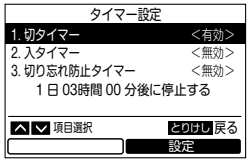
3 『へ』『∨』を押して **2. 切タイマー時間** を選ぶ

4 **時間＋** 『F1』 **時間ー** 『F2』を押して時間を設定する
- 24 時間までは 30 分ごとに、24 時間以後は 1 時間ごとの設定ができます。

5 『メニュー』を押す
- 「4. タイマー設定」画面に戻ります。

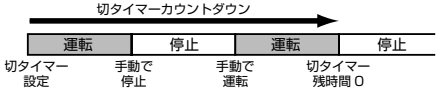






■切タイマー動作について

- 切タイマーで設定した時間後にエアコンが停止します。その間にエアコンの停止、運転が行われても切タイマーカウントダウンは継続されます。



2.入タイマー エアコンを運転させたい時間までをタイマーで設定できます。

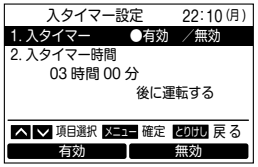
1 入タイマー設定画面で『へ』『∨』を押して **1. 入タイマー** を選ぶ

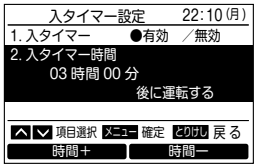
2 **有効** 『F1』を押す
- **無効** 『F2』を押すと設定は解除されます。

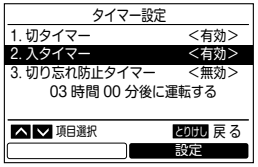
3 『へ』『∨』を押して **2.入タイマー時間** を選ぶ

4 **時間＋** 『F1』 **時間ー** 『F2』を押して時間を設定する
- 24 時間までは 30 分ごとに、24 時間以後は 1 時間ごとの設定ができます。

5 『メニュー』を押す
- 「4. タイマー設定」画面に戻ります。

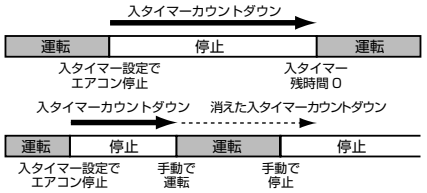






■入タイマー動作について

- 入タイマーで設定した時間にエアコンが運転を開始します。入タイマーを設定した時にエアコンは停止します。入タイマーカウントダウン中にエアコンを運転した時は入タイマーは無効になります。



■入・切タイマー動作について

- 切／入タイマーは1回のみ有効です。
- 以下の場合は切／入タイマーは動作しません。切／入タイマー無効中、機能設定中、集中管理中（運転 / 停止が禁止の場合）
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。
- 切／入タイマーの設定範囲は、最小 30 分から最大 168 時間（7 日）までです。
- 『とりけし』を押すと、変更はおこなわれず、変更前の状態で「4. タイマー設定」に戻ります。
- 停電時は、切／入タイマー設定は解除されます。（無効になります）
- 切／入タイマーが有効なとき、詳細表示画面に「🕘」が表示されます。

タイマー運転（つづき）

3.切り忘れ防止タイマー エアコン運転開始後から停止するまでの時間をタイマーで設定します。

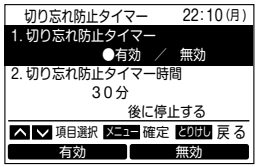
1 切り忘れ防止タイマー画面で『∧』『∨』を押して 1.切り忘れ防止タイマー を選ぶ

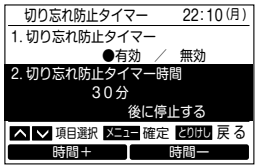
2 有効 『F1』を押す
- 無効 『F2』を押すと設定は解除されます。

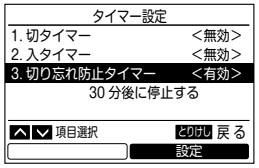
3 『∧』『∨』を押して
2.切り忘れ防止タイマー時間 を選ぶ

4 時間＋ 『F1』 時間－ 『F2』を押して時間を設定する
- 10 分ごとに設定ができます。

5 『メニュー』を押す
- 「4. タイマー設定」画面に戻ります。

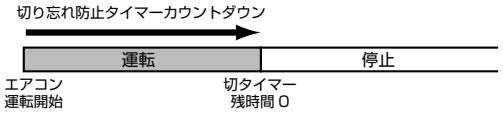






■切り忘れ防止タイマー動作について

- エアコン運転を開始した後、設定した時間後にエアコンが停止します。



- 切り忘れ防止タイマーが有効のとき、詳細表示画面に「🕘」が表示されます。
- 以下の場合は切り忘れ防止タイマーは動作しません。
  切り忘れ防止タイマー無効中、異常中、試運転中、機能設定中、タイマー設定中、集中管理中（運転 / 停止が禁止の場合）
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。
- 「3. 切り忘れ防止タイマー」の設定範囲は、最小 30 分から最大 240 分までです。
- 『とりけし』を押すと、変更はおこなわれず、変更前の状態で「4. タイマー設定」に戻ります。

オートグリルパネルの操作方法

（別売のオートグリルパネルを取り付けてある場合）

- オートグリルの操作（下降･停止･上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから、オートグリルが下降･停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。
- オートグリルについての詳しい説明は、オートグリルパネルに付属されている取扱説明書をご覧ください。
- ワイヤレスリモコンからも昇降の操作が可能です。詳しくはリモコンに付属している取扱説明書をご覧ください。

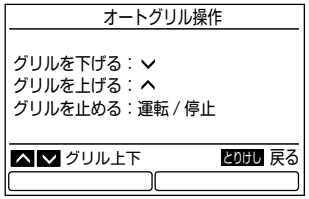
操作のしかた

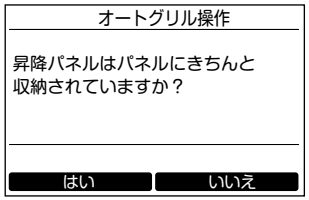
1 メニュー画面で「8. オートグリル操作」を選んで 設定 『F2』を押す

2 『∧』『∨』を押してオートグリルの上昇 / 下降を行う
- 『運転 / 停止』を押すとオートグリルは停止します。

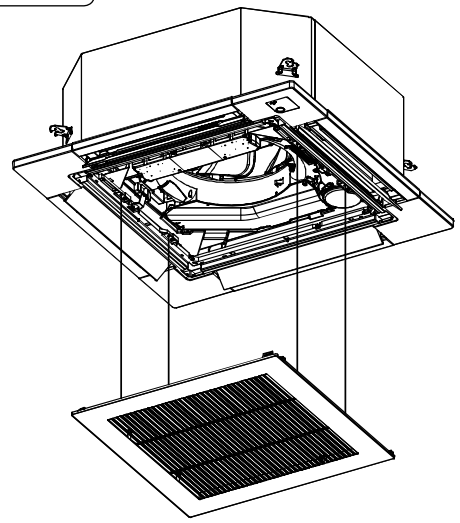
3 『とりけし』を押す

4 オートグリル画面で はい 『F1』を押す
- “設定中”の画面表示後にメニュー画面に戻ります。
- いいえ 『F2』を押すと、「オートグリル操作」画面に戻ります。





- 運転中に「オートグリル操作」を選択すると、運転は停止します。
- オートグリルパネルを取り付けていない場合「本機種では設定できません。」が表示されます。
- オートグリルの操作（下降･停止･上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから、オートグリルが下降･停止･上昇するまで数秒の時間がかかります。
- オートグリルについての詳しい説明は、オートグリルパネルに付属されている取扱説明書をご覧ください。
- グループ接続が行われている場合は、12 ページの“グループ接続が行われている場合”を参照ください。



風向調節

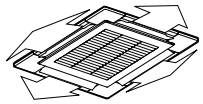
冷暖房効果を高めるために吹出フラップは冷房運転と暖房運転で必ず使い分けてください。
空気の特性として冷たい空気は下にたまり、暖かい空気は上にたまります。

> ⚠注意 **冷房運転時はフラップを水平吹き出しの状態にする**
> 下吹き出しの状態で冷房運転しますと吹出口やフラップの表面に露がつき、滴下する原因になります。

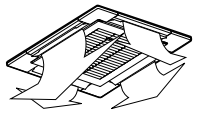
お知らせ

●水平吹き出しの状態で暖房運転しますとお部屋の温度ムラが大きくなることがあります。

冷房運転時
吹出フラップを水平吹き出しでお使いください



暖房運転時
吹出フラップを下吹き出しでお使いください

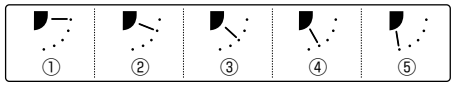


●停止時には吹出フラップが自動的に閉じます。
●暖房運転開始時や除霜運転時または室温サーモ OFF 時には吹出フラップが水平になります。また、このときにスイングや風向きの設定をした場合、リモコン表示は設定内容となりますが、吹出フラップは水平のまま動きません。温風を吹き出す通常の暖房運転を開始すると、吹出フラップは設定した風向きになります。

風向きを設定するときは

1 メニュー画面で「1. 風向設定」を選んで **設定** 『F2』を押す

2 『∧』『∨』を押して風向きを選ぶ



実運転モード	設定可能角度
暖房、送風、冷暖自動暖房	①⇔②⇔③⇔④⇔⑤
冷房、ドライ、冷暖自動冷房	①⇔②⇔③

3 『とりけし』を押す
● メニュー画面に戻ります。

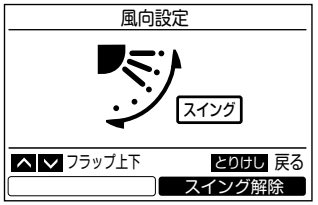


スイングの設定・解除

スイング設定 (スイング中の表示)

1 風向設定画面で **スイング** 『F2』を押す
● スイング運転中に、風向設定画面が表示されている時に『∧』『∨』を押した時は、スイングが停止しフラップが風向①の位置になります。

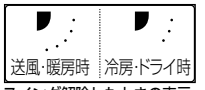
2 『とりけし』を押す
● メニュー画面に戻ります。



スイング解除 (表示は解除後)

1 風向設定画面で **スイング解除** 『F2』を押す
● スイング運転中にフラップがお好みの位置になった時に **スイング解除** 『F2』を押すと、スイングが停止します。

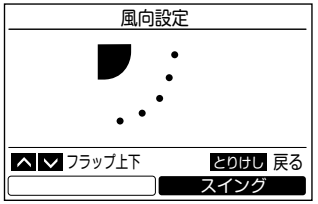
● 冷房、ドライ時には吹出フラップは下向きでは止まりません。スイング中に吹出フラップ下向きの状態で止めても、風向③の位置まで動いてから止まります。



スイング解除したときの表示

● スイングを解除した時の表示中に『∧』『∨』を押した時は、フラップは①の位置になります。

2 『とりけし』を押す
● メニュー画面に戻ります。



■風向について
- グループ接続が行われている場合は、12 ページの“グループ接続が行われている場合”を参照ください。
- フラップロック設定が行われている時には「✥」マークが表示されます。

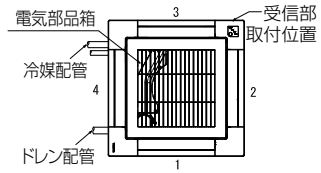
風向調節（つづき）

フラップの個別設定をするには

1 メニュー画面で「2. 個別風向設定」を選んで **設定** 『F2』を押す

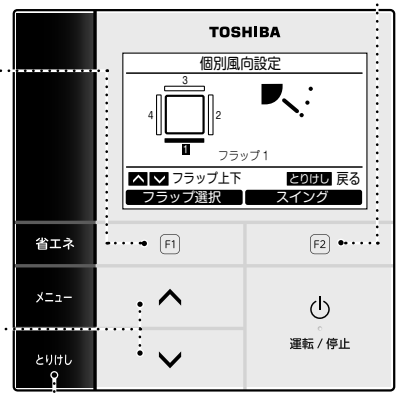
2 **フラップ選択** 『F1』を押してフラップを選ぶ
- 『F1』を押すたびに表示が変わります。





3 『∧』『∨』を押して風向きを選ぶ
- 設定方法は、風向設定と同じです。

4 『とりけし』を押す
- メニュー画面に戻ります。

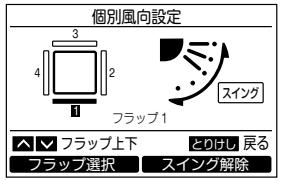


スイングの設定・解除

スイング設定（スイング中の表示）

1 個別風向設定画面で **スイング** 『F2』を押す

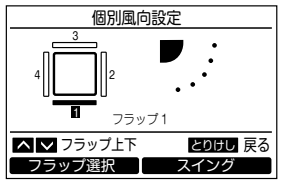
2 『とりけし』を押す
- メニュー画面に戻ります。



スイング解除（表示は解除後）

1 個別風向設定画面で **スイング解除** 『F2』を押す

2 『とりけし』を押す
- メニュー画面に戻ります。



- スイング中に『∧』『∨』を押すと、スイングは解除されフラップは水平位置に設定されます。
- グループ接続が行われている場合は、12 ページの“グループ接続が行われている場合”を参照ください。
- フラップロック設定が行われている時には「✣」マークが表示されます。そのフラップの個別風向設定はできません。

スイングモード設定

1 メニュー画面で「3. フラップ動作設定」を選んで **設定** 『F2』を押す

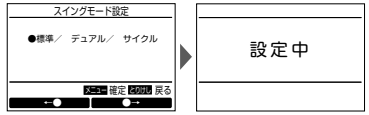
2 『∧』『∨』を押して **1. スイングモード設定** を選んで **設定** 『F2』を押す

3 スイングモード設定画面で
←● 『F1』
●→ 『F2』
でモードを選ぶ

4 『メニュー』を押す
- 設定中の画面になります。
- グループ接続を行っている場合はユニット選択画面が表示され、『とりけし』を押すと設定中の画面になります。

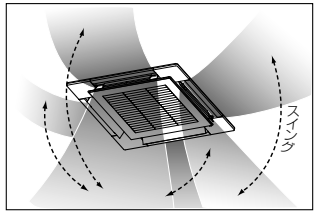
設定前



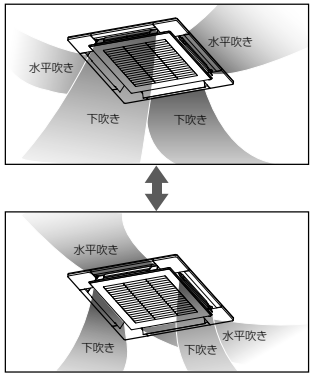


- 『とりけし』を押すと、変更はおこなわれず、変更前の状態で、「3. フラップ動作設定」に戻ります。
- グループ接続が行われている場合は、12 ページの“グループ接続が行われている場合”を参照ください。

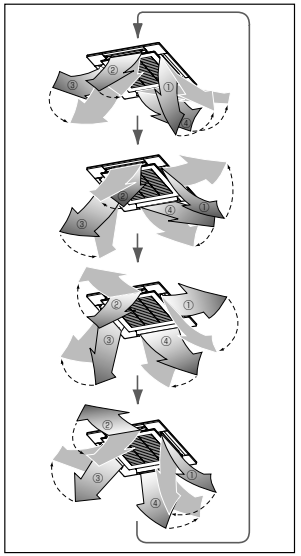
◎標準スイングとは
4 枚のフラップが同じ角度で同時にスイングします。



◎デュアルスイングとは（暖房におすすめです）
- 隣り合うフラップが水平吹き・下吹きを交互に繰り返し、暖房時の温度ムラを解消します。
- 下吹きは床面まで温風が広がり、水平吹きは空気をかくはんして温度ムラを抑制します。



◎サイクルスイングとは（冷房におすすめです）
- 4 つのフラップが波打つように、時間差でスイングします。



風向調節（つづき）

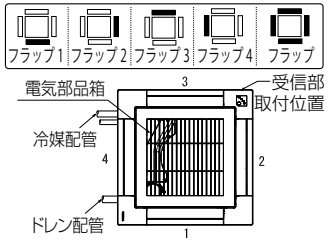
フラップロック設定

1 メニュー画面で「3. フラップ動作設定」を選んで **設定** 『F2』を押す

2 『へ』『∨』を押して **2. フラップロック設定** 選んで **設定** 『F2』を押す

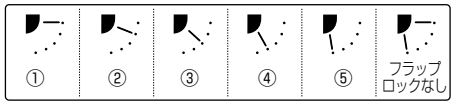
3 **フラップ選択** 『F1』を押してフラップを選ぶ

- 『F1』を押すたびに表示が変わります。



4 『へ』『∨』を押してフラップ角度（風向き）を選ぶ

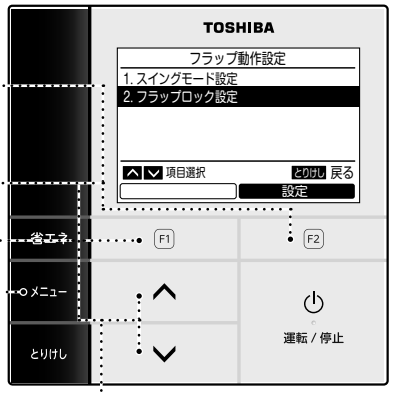
- 『へ』を押すとフラップが上がり、『∨』を押すとフラップが下がります。

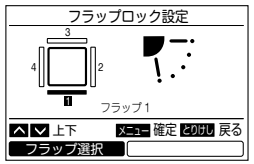


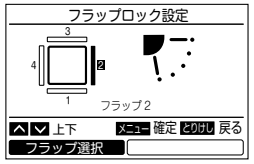
5 『メニュー』を押す

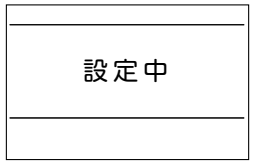
- 設定中の画面になります。
- グループ接続を行っている場合はユニット選択画面が表示され、『とりけし』を押すと設定中の画面になります。

設定前









- 『とりけし』を押すと、変更はおこなわれず、変更前の状態で、「3. フラップ動作設定」に戻ります。
- フラップロックが設定されているときには、「 ✣ 」が表示されます。
- フラップロックを解除するときは、各フラップのフラップ角度を『へ』『∨』を押して "フラップロックなし" に設定します。
- 冷房時に④⑤の位置でフラップロック設定をすると結露する恐れがあります。
- グループ接続が行われている場合は、その他の機能を参照ください。

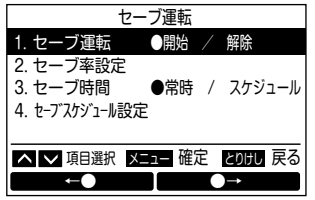
セーブ運転

省エネを目的とした設定ができます。

1 セーブ運転画面で『へ』『∨』を押して **1. セーブ運転** を選ぶ

2 セーブ運転を開始する場合は **2. セーブ率設定** **3. セーブ時間** **4. セーブスケジュール設定** を設定後、**←●** 『F1』で **開始** を選んで『メニュー』を押す

セーブ運転を停止させる場合は **●→** 『F2』で **解除** を選んで『メニュー』を押す



セーブ率設定

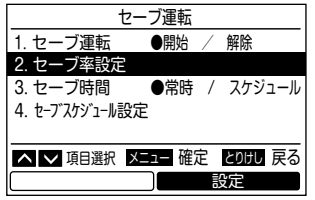
1 セーブ運転画面で『へ』『∨』を押して **2. セーブ率設定** を選んで **設定** 『F2』を押す

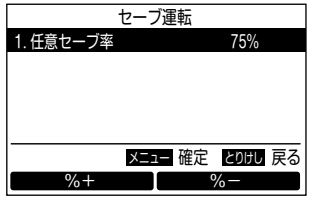
2 **%+** 『F1』 **%−** 『F2』で数値を設定する

- 任意セーブ率は、50 ～ 100%の範囲で、1%刻みで設定できます。数値が低いほど省エネ効果が高い運転を行います。

3 『メニュー』を押す

- 設定中の画面表示後にセーブ運転画面に戻ります。





お知らせ

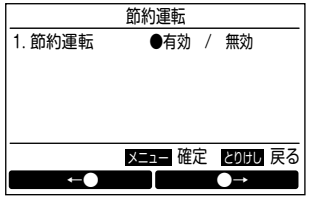
- セーブ運転ではエアコンの能力をおさえた運転になりますので、よく冷えない（暖まらない）ことがあります。
- セーブ運転が行われている時には、表示画面に「 」が表示されます。
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。
- セーブ運転設定の前に時計の設定を行ってください。
- 集中管理リモコンの設定によっては、リモコンで設定できない場合もあります。
- 時計が点滅状態（未設定）時は、セーブスケジュール運転を行いません。

節約運転

1 省エネ設定画面で『∧』『∨』を押して
5. 節約運転 を選んで
設定 『F2』を押す

2 節約運転をする場合は **←●** 『F1』
押して有効を選ぶ

3 『メニュー』を押す
● 省エネ設定画面に戻ります。

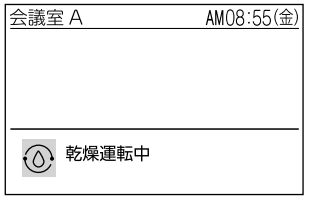


- 過去20分間の平均化された室温・風量・外気温度等のデータから室内の快適性を判定し、快適性が大きく変動しない範囲内で設定温度を自動補正して省エネします。
- 自動補正の温度範囲は「冷房時：＋1.5℃～－1.0℃」「暖房時：－1.5℃～＋1.0℃」です。
リモコンの設定温度表示は変わりません。
- 節約運転が行われている時には、リモコン表示画面に が表示されます。
- 冷暖自動運転および冷房、暖房運転のときに節約運転をします。
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。

乾燥運転

冷暖自動（冷房時）・ドライ・冷房運転後に運転を停止した時にエアコンの内部を送風運転により乾燥させ、きれいな状態に保つための機能です。

● 冷暖自動(冷房時)・ドライ・冷房運転時間により乾燥運転の時間が変わります。
● 乾燥運転中は下記画面表示になります。



乾燥運転を強制的に停止するときには

『運転／停止』ボタンを２回続けて押す

冷暖自動(冷房時)･ドライ･冷房運転時間	乾燥運転時間
10分未満	乾燥運転は行ないません
10分以上1時間未満	45分
1時間以上	90分

お知らせ

- 運転を停止するために『運転／停止』ボタンを押してもファンが回り続けることがありますが、これは乾燥運転を行っているためで故障ではありません。また、乾燥運転中はフラップが水平位置（少し開いた状態）になります。乾燥運転が終了するとフラップは閉じます。
- 乾燥運転中は運転ランプ（LED）は消灯します。
- 乾燥運転は、お部屋をきれいにしたり、すでに発生しているエアコン内部のカビやほこりを取ることはできません。
- 乾燥運転を解除したい場合は、販売店または据付業者にご相談ください。

グループ接続が行われている場合

「風向設定」「個別風向設定」「スイングモード設定」「フラップロック設定」「オートグリル操作」を行うとき、グループ接続の場合は各ユニットごとに設定を行うことができます。以下の手順を行った後に、それぞれの設定を行ってください。

1 メニュー画面でグループ接続がある項目で **設定** 『F2』を押す

2 **ユニット** 『F1』を押してユニットを選択する

- **ユニット** 『F1』を押すたびに切り換わります。

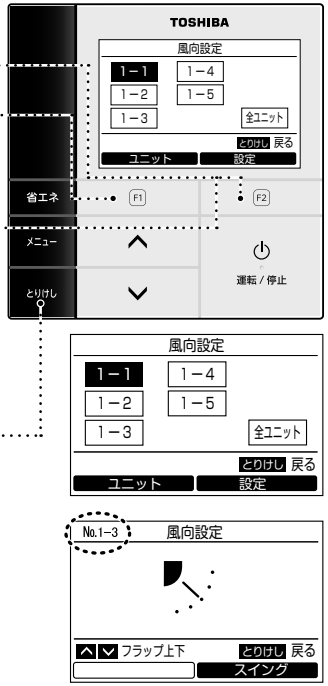
親機 → 子機No.1 → …… → 全ユニット

3 **設定** 『F2』を押す

- **設定** 『F2』を押すと、各ユニットの設定画面が表示されます。

4 『とりけし』を押す

- 『とりけし』を押すと前の画面に戻ります。
- 「スイングモード設定」「フラップロック設定」「オートグリル操作」の場合は『とりけし』を押すと“設定中”の画面になります。
  - ・左上に選択したユニットNo（アドレス）が表示されます。「全ユニット」を選択している場合は、表示されません。
  - ・「全ユニット」を選択できない設定があります。



お手入れ

冷房・ドライ運転後は乾燥運転を行っており、送風ファンが動いています。
お手入れの際は、乾燥運転を強制終了させ、必ず漏電遮断器を切ってから行ってください。

本体

やわらかい布でからぶきする

- 本体の汚れがからぶきで落ちないときは、40℃以下のぬるま湯ですすいだ布をよくしぼって拭いてください。

お願い

- アルコール・ベンジン・シンナー・ガラスクリーナー・みがき粉などは使用しないでください。製品をいためます。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。変質したり表面がはげたりすることがあります。

リモコン

やわらかい布でからぶきする

- 水洗いをしないでください。故障の原因となります。



長期間使わないとき

1 乾燥運転とは別に 1 ～ 2 時間送風運転をして内部を乾燥させる

2 リモコンで『運転／停止』ボタンを押し、運転を停止して、漏電遮断器を切る。

3 エアフィルター・オイルガードフィルターのお手入れをする。

定期的な点検

- 長時間使っていると、熱・湿気・ホコリなどの影響や使用状態により部品が劣化し、故障したり、除湿水の排水が悪くなったりすることもあります。
- 通常のお手入れとは別にお買上げの販売店などによる点検整備（有料）をおすすめします。

お願い

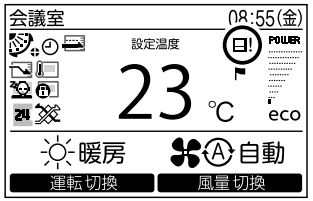
- **熱交換器の洗浄は、必ず高圧洗浄で行ってください。**
  強アルカリ性・強酸性など、洗浄力の強い市販洗浄剤を使用すると、熱交換器の表面処理が侵され、セルフクリーン機能が低下する恐れがあります。詳しくは、弊社営業部または、お買い上げの販売店にご相談ください。

エアフィルターの掃除

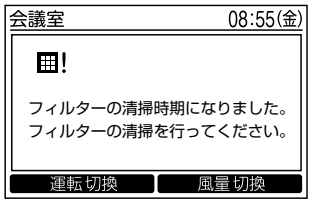
リモコン画面にフィルターチェックマーク「▦!」が表示されます。（簡易表示画面では表示されません。）フィルター掃除についての目安時間などをお知らせします。

- フィルターチェックマークが表示されたときは、必ずフィルターの清掃を行った後にリセットを行ってください。
  フィルターの清掃方法は室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。

※詳細表示画面への切り換えは 4 ページをご覧ください。



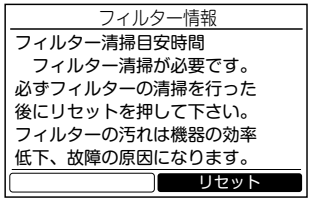
- フィルターチェックマークが表示されているときにエアコンを運転すると、「フィルターの清掃時期になりました。フィルターの清掃を行って下さい。」が表示されます。表示中に操作ボタンを押すか、5秒以上放置すると表示は消えます。



フィルターチェックが表示されているとき（フィルターチェックのリセット）

1 メニュー画面で「7. フィルター情報」を選んで **設定** 『F2』を押す

2 **リセット** 『F2』を押す



お手入れ（つづき）

お手入れをするときは、必ず漏電遮断器を切ってから行ってください。

⚠注意

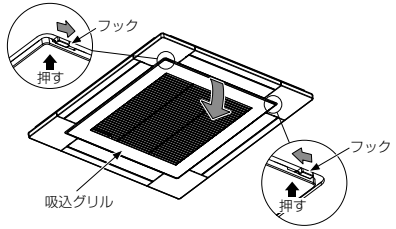
エアコンを水洗いしない
感電の原因になります。
禁 止

ぬれた手でスイッチを操作しない
感電の原因になります。
禁 止

エアフィルターの掃除（掃除の手順）

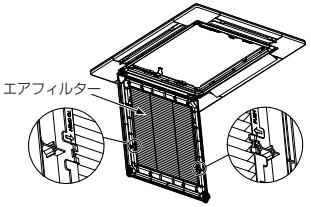
1 吸込口を開ける

●吸込口のコーナーを押しながらフックを内側にスライドさせて、吸込口を持ってしずかに開きます。



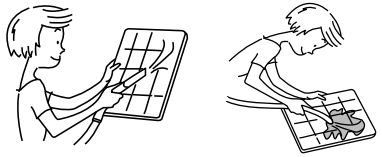
2 エアフィルターを取り出す

●エアフィルターの突起部を内側に押して手前に引くと取り出せます。



3 ホコリを掃除機で吸い取るか水洗いする

●汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。

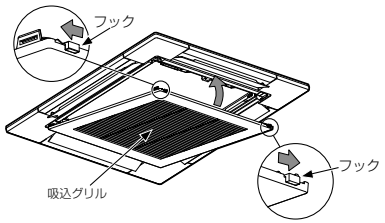


●水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

4 エアフィルターを取り付ける

5 吸込口を閉じる

●吸込口を閉じ、2 つのフックを外側にスライドさせて、確実に固定してください。



オイルガードフィルターの掃除

●**2 週間に一度は洗浄**してください。
●中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗ってください。
●洗ったあとは、よくすすぎ日陰で乾かしてください。

お知らせ

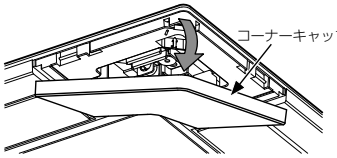
●オイルガードフィルターは油煙に対して優れた耐久性を発揮するもので、油煙を確実に捕集するものではありません。
●オイルガードフィルターの洗浄期間は、油煙濃度 3.5 mg／m^3の環境条件で算出しています。
油煙の付着や汚れの状態により洗浄期間を変えてください。

吹出フラップの掃除

吹出フラップが汚れた場合、取りはずして掃除することができます。

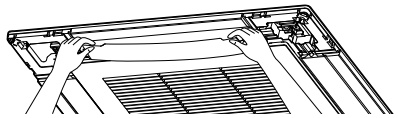
1

●コーナーキャップをはずす。



2 吹出フラップをはずす

●吹出しフラップの両端を持ち、中央を下にたわませて取りはずします。



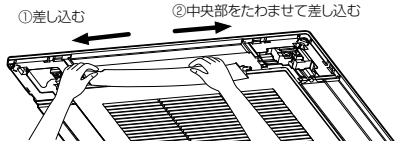
3 やわらかい布でからぶきする

●水洗いをしないでください。故障の原因となります。



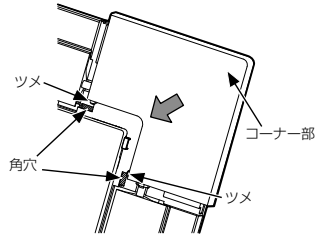
4 吹出フラップを取り付ける

●片側を先に押し込み、中央部を下にたわませならが反対側を差し込みます。



5

●ツメ（2 箇所）を先に差し込むように矢印方向に押し込み、コーナー部をカチッというまで押して、コーナーキャップのコーナー部を押して取り付けます。



冷房シーズン前には

●ドレン皿のお掃除

⚠注意

ドレン皿を掃除する
ドレン皿にゴミがつまり、水があふれて天井や床をぬらす原因になります。
掃除する

●抗菌ガラスの交換

抗菌ガラスは消耗品です。交換の目安は、一般的な冷房運転下において約 10,000 時間です（冷房運転を毎日 10 時間・5 ヵ月間使用した場合、年間では 1,500 時間となります。気化式加湿器（別売部品）をご使用の場合は、暖房運転時間も加味してください）。交換には別売の抗菌ガラス付ドレンキャップ「TCB-DCG31U」をご使用ください。

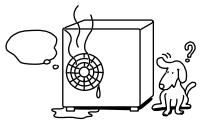
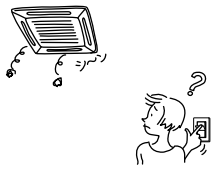
お願い

ドレン皿の掃除または抗菌ガラスの交換はお買い上げの販売店にご相談ください。
抗菌ガラスの交換時期の目安にするため、下記表に据付日をご記入ください。
また、交換した際には、交換日をご記入ください。

据付日	年	月	日
交換日(1回目)	年	月	日
交換日(2回目)	年	月	日

このようなときには

修理サービスをお申しつける前に次の点をお調べください。

	症　状		原　因
故障ではありません	室外機 	●白い霧状の冷気や水が出る	●自動的に室外機のファンが停止し、除霜を行っているためです。
		●時々“ブシュ”という音がする	●除霜運転開始、および終了時に電磁弁が作動する音です。
		●電源投入時“カタカタカタ”という音がする	●室外機が運転準備している音です。
	室内ユニット 	●時々“シュー”という音がする	●運転中や停止直後などに、水の流れるような音や、運転開始直後２～３分間運転音が大きくなることがありますが、これは冷媒の流れる音や除湿水の排水音です。
		●“ピシッ”という音がする	●運転中に、エアコンから「ピシッ」という小さな音がすることがあります。これは温度変化により、熱交換器などがわずかに伸縮するため発生する音です。
		●吹き出す風が臭う	●壁やじゅうたん、家具、衣類、タバコ、化粧品などの雑多な臭いがエアコンに付着するためです。
		●運転停止してもファンが回転している	●乾燥運転中は、熱交換器を乾燥させるためにファンが回転しています。（11 ページ参照）
もう一度お調べください	運転しないとき 	●停電ではありませんか。	
		●漏電遮断器が切れていませんか。	
		●保護装置が作動していませんか。（運転ランプとリモコン表示部の点検表示が点滅している）	
	よく冷えない よく暖まらないとき 	●室外機の吸込口や吹出口をふさいでいませんか。	
		●ドアや窓が開いていませんか。	
		●エアフィルターにホコリやゴミがつまっていませんか。	
		●吹出フラップが適正な位置になっていますか。	
		●風量切換が「弱風」または運転切換が「送風」になっていませんか。	
		●設定温度が適正な温度になっていますか。	

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから漏電遮断器を切り、お買いあげの販売店に品番と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。また、リモコンの液晶表示部に点検コードが表示されたときは、その内容もご連絡ください。

次の症状のときはただちに運転を中止し、漏電遮断器を切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

- ●スイッチの作動が不確実なとき
- ●漏電遮断器がたびたび切れるとき
- ●誤まって異物や水を入れてしまったとき
- ●『知っておいていただきたいこと』の保護装置の作動原因を取り除いても運転できないとき
- ●その他いつもと違う状態のとき

知っておいていただきたいこと

運転前の確認

- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
- エアフィルター・オイルガードフィルターを付け忘れていないか確認します。
- 運転を開始する 12 時間以上前に漏電遮断器を入れます。

暖房能力について

- 暖房は室外の熱を吸収し、室内に放熱するヒートポンプ方式です。外気温が下がると、暖房能力は低下します。
- 外気温が低いときは、他の暖房器具と併用してお使いください。

暖房運転中の除霜

- 暖房運転中、室外機に霜がついた場合、暖房効果を高めるために自動的に除霜運転（約2～10分間）になります。
- 除霜運転中は、室内ユニット、室外機の送風機は停止します。

３分間保護について

- 運転を停止してすぐに再開したときや、漏電遮断器を入れたときには約３分間、室外機は運転しません。これは機械を保護するためです。

停電について

- 運転中に停電した場合はすべての運転を停止します。
- 運転を再開するときは 運転／停止ボタンを押しなおしてください。

保護装置について

- エアコンに無理がかかったときに運転を停止させます。
- 保護装置が作動すると、運転が停止し、リモコンの運転ランプとリモコン表示部の点検表示が点滅します。

保護装置がはたらくとき

- ●保護装置が作動し、運転を停止した場合は、漏電遮断器を切り、点検をしてください。原因を取り除かないで運転しますと、故障することがあります。
- ●エアフィルター・オイルガードフィルターが取り付けられているか確認してください。取り付けられていませんと、空気熱交換器などにホコリがつまり、水漏れの原因になることがあります。

冷房運転中

- 室外機の吸込口や吹出口がふさがれているとき。
- 室外機の吹出口に強い風が連続して吹き付けたとき。

暖房運転中

- ●エアフィルター・オイルガードフィルターにホコリやゴミが異常に多く付着しているとき。
- ●室内ユニットの吸込口や吹出口がふさがれているとき。

漏電遮断器は切らないで

- エアコン使用期間中は、漏電遮断器を切らず、リモコンの運転／停止ボタンで操作してください。

テレビやラジオなどを離して

- エアコン本体およびリモコンからテレビやラジオなどを、１ｍ以上離してください。映像の乱れや雑音が入ることがあります。

吹出フラップは必ず使いわけて

- 冷房運転のとき下吹出しの状態で運転しますと吹出口や吹出フラップの表面に露が付き滴下することがあります。

エアコンを上手に使っていただくため、つぎの条件で運転してください

冷房運転 ドライ運転	部屋の温度	21℃以上 32℃以下
	部屋の湿度	80%以下 80%を超えた状態で長時間運転すると機械の表面に露が付き滴下したり、吹出口から露が吹き出すことがあります。
暖房運転	部屋の温度	28℃以下

自動運転時の冷房運転、暖房運転もこの条件によります。

この条件以外で運転されますと保護装置がはたらき運転できないことがあります。

●外気温度は室外機に付属の「取扱説明書」をご覧ください。

据付について

設置場所について

⚠警告

可燃性ガスが漏れるような恐れのある場所へ設置しない

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・火災の原因になります。

据付場所の確認

- 室内ユニット、室外機から出る除湿水は、水はけの良いところへ排水してください。
- 室外機の吸込口、吹出口の近くに障害物を置かないでください。放熱が妨げられ性能が低下したり保護装置がはたらき運転ができないことがあります。
- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外機の吹出口の近くに障害物を置きますと、運転音増大のもととなります。
- 液化炭酸冷却等化学プラントには使用できません。

次のような場所はさけてください

- 酸性またはアルカリ性雰囲気の場所（温泉地帯、化学薬品工場、すし酢など酸性雰囲気を直接吸い込む場所、燃焼機の排気を吸込む場所など）…熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こす恐れがあります。
- 切削油などの機械油の立込める雰囲気の場所…熱交換器の腐食、熱交換器目づまりによる霧の発生、フィルター目づまりによる性能低下および結露、プラスチック部品の破損、断熱材のはがれなどを起こす恐れがあります。
- 食用油煙が発生する場所（食用油を使用する厨房、焼肉・お好み焼き店など）…フィルター目づまりによる性能低下および結露、プラスチック部品の破損などを起こす恐れがあります。
- 吹き出しの気流を乱す換気口や照明器具などの障害物が近くにある場所（気流の乱れにより、能力低下や機器の停止の恐れがあります。）
- 電源に自家発電装置を使用している場所…電源周波数、電圧が変動しエアコンが正常に動作しないことがあります。
- クレーン車、船舶など移動するもの
- 特殊用途（食品・動植物・精密機器・美術品の保存など）では使用しないこと（保存物の品質などに損害の恐れがあります。）
- 高周波の発生する機器（インバータ機器、自家発電機、医療機器、通信機器）がある場所（エアコンの誤動作や制御の異常やそれら機器へのノイズによる弊害が生じる恐れがあります。）
- 据え付けた下に、ぬれては困るものがある場所（湿度 80%以上のときやドレン口がつまった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じる恐れがあります。）
- 有機溶剤を使用している場所
- ドアまたは窓の近くで高湿度の外気と接する恐れのある場所（結露する恐れがあります）
- 特殊なスプレーを頻繁に使用する場所
- **金属粉などの粉塵が発生する場所には据え付けないでください。**
  金属粉などがエアコン内部に付着・堆積すると自然発熱することがあり、火災の原因になります。

電気配線について

⚠警告

アース工事が正しく行われているか確認する

法律によりD種接地工事が必要です。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アースを確認する

⚠注意

漏電遮断器が取り付けられているか確認する

法規上漏電遮断器の取り付けが必要です。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

漏電遮断器の確認

正しい容量の漏電遮断器以外は使用しない

電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。

正しい漏電遮断器を使用する

移設について

- パッケージエアコンを移設される場合は専門の技術が必要ですので、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
  なお、移設の場合は実費をいただきます。

〈フロン排出抑制法による冷媒充填量確認のお願い〉

- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
- この製品の工場出荷時のフロン類の数量および、その二酸化炭素換算値は「仕様」の項目に記載しています。その二酸化炭素換算値は、接続されている室外機や接続室内ユニット台数、接続配管長さにより異なります。システム全体でのフロン類に関する数値は、室外機に表示されています。



点検整備について

- ご使用状態によっても変わりますが、エアコンを数シーズンお使いになりますと内部が汚れ、性能が低下することがありますので、12 ～ 13 ページの日常のお手入れとは別に点検整備（有料）をおすすめいたします。
- 本製品はドレンポンプを内蔵しています。油、じんあいの多い場所で使用しますとポンプがつまり、ドレンの排水ができなくなりますので定期的にポンプの清掃が必要です。ドレンポンプの清掃については販売店にご相談ください。

お願い

- **熱交換器の洗浄は、必ず高圧洗浄で行ってください。**
  強アルカリ性・強酸性など、洗浄力の強い市販洗浄剤を使用すると、熱交換器の表面処理が侵され、乾燥機能が低下する恐れがあります。詳しくは、弊社営業部または、お買い上げの販売店にご相談ください。

簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法により簡易点検が義務付けられています。
簡易点検は、四半期に 1 回以上、下記内容にそってお客様が実施されるかまたは、専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外機点検	・機器の異常振動・異常運転 ・機器および機器周辺の油のにじみ ・機器のきずの有無、熱交換器の腐食、錆など
室内ユニット点検	・熱交換器の霜付きの有無

点検は、安全で容易に目視が出来る場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。
また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたら、これらの点検を行うとともに専門業者へ問い合わせてください。
「簡易点検」に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。
環境省ホームページ：http://www.env.go.jp/

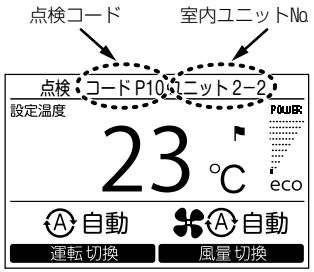
故障診断

確認と点検

エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニットNoが点滅表示されます。

＊点検コードは運転中のみ表示されます。

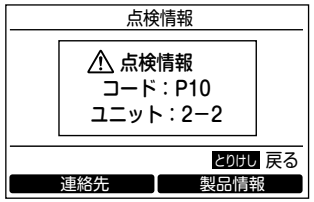
点検コードと室内ユニットNoが表示されている時に『とりけし』を押すと、点検情報画面が表示されます。



点検情報画面で

連絡先 『F1』を押すと、連絡先が表示されます。

製品情報 『F2』を押すと、製品の形名と製造番号が表示されます。



仕様

室内ユニット

室内ユニット形名		AIU-RP711H	AIU-RP801H	AIU-RP1121H	AIU-RP1401H	AIU-RP1601H
種類	機能	冷・暖房兼用形				
	ユニット構成	分離形				
	凝縮器の冷却方式	空冷式				
	送風方式	直接吹出形				
騒音	音圧レベル※1 急 (dB(A))	42		48		
	音圧レベル※1 強+ (dB(A))	37		43	44	45
	音圧レベル※1 強 (dB(A))	35		40	41	42
	音圧レベル※1 弱+ (dB(A))	32		37	38	39
	音圧レベル※1 弱 (dB(A))	27		31	33	35
	音響パワーレベル※2 急 (dB(A))	57		63		
	音響パワーレベル※2 強+ (dB(A))	52		58	59	60
	音響パワーレベル※2 強 (dB(A))	50		55	56	57
	音響パワーレベル※2 弱+ (dB(A))	47		52	53	54
	音響パワーレベル※2 弱 (dB(A))	43		47	49	51
総質量 (kg)		21	25			
外形寸法	高さ (mm)	256	319			
	幅 (mm)	840	840			
	奥行 (mm)	840	840			
天井パネル形名		RBC-U41PG(W),(C),(N),(K), RBC-UP41PG(W)				
二酸化炭素換算値 (kg)		1047	1283	2093		

※1 音圧レベル(SPL）の測定方法は、JIS B 8616：2006 に準拠した測定方法です。
※2 音響パワーレベル（PWL）は、直吹き室外機はJIS C 9815-1、直吹き室内ユニットはJIS C 9815-2、ダクト接続形はJIS B 8616：2015に基づいて測定した値です。

- 製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。
- 室外機と組み合わせたときの冷暖房能力・電気特性は製品に貼り付けてある装置銘板をご覧ください。
- 組み合わせ室外機はカタログをご覧ください。
- 地球温暖化係数（GWP）R32：675

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

《省エネ法に基づく表示について》
省エネ法に基づく表示については、室外機付属の「省エネ法に基づく表示について」の別紙を参照願います。

MEMO

MEMO

MEMO

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-00**

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど **03-5326-5038（通話料：有料）**

FAX 045-461-3493（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（室外機に付属）

●この東芝パッケージエアコンの保証期間は、室外機に付属の保証書をご確認ください。
●保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間

●パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後９年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

フロン排出抑制法に基づく点検実施のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。
“点検記録簿”には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。
費用等点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問合せください。
「点検記録簿」に関しては、下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。
日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ：http://www.jarac.or.jp/

修理を依頼されるときは（出張修理になります）

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電遮断器を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。
修理に際して冷媒を回収するときは、フロン排出抑制法の規程に従ってください。

■保証期間中は

修理に関しては室外機に付属の保証書をご覧ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。	
技　術　料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部　品　代	修理に使用した部品代金です。
出　張　料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡していただきたい内容

品　　名	パッケージエアコン	
形　　名		
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください。	
お　名　前	電話番号	訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名	
電　話　番　号	電話（　　）

東芝キヤリア株式会社
〒416-8521　静岡県富士市蓼原 336 番地

SN:EH99948801-②